

「ディスクロージャー誌 2019」 正誤表

P43 3. キャッシュ・フロー計算書

誤

3. キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成 29 年 度 <small>(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)</small>	平成 30 年 度 <small>(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)</small>
<b>1 事業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
(中略)		
固定資産処分関係損益(△は益)	76,081	24,225
(中略)		
小 計	1,012,629	750,262
(中略)		
事業活動によるキャッシュ・フロー	1,068,566	821,351
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
(中略)		
固定資産の処分等による支出	△69,885	△20,396
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△938,271	△623,181

P45 4. 注記表

誤

平成29年度	平成30年度
(中略)	(中略)
5. リース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が会計基準適用開始前(平成20年3月31日以前)のリース取引については、引き続き通常の賃貸借に準じた会計処理によっています。	5. リース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が会計基準適用開始前(平成20年3月31日以前)のリース取引については、引き続き通常の賃貸借に準じた会計処理によっています。
6. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっています。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は雑資産に計上し、5年間で均等償却を行っています。	6. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっています。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は雑資産に計上し、5年間で均等償却を行っています。
7. 決算書類に記載した金額の端数処理の方法 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。	7. 決算書類に記載した金額の端数処理の方法 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。

正

3. キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成 29 年 度 <small>(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)</small>	平成 30 年 度 <small>(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)</small>
<b>1 事業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
(中略)		
固定資産処分関係損益(△は益)	76,081	25,672
(中略)		
小 計	1,012,629	751,710
(中略)		
事業活動によるキャッシュ・フロー	1,068,566	822,799
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
(中略)		
固定資産の処分等による支出	△69,885	△21,844
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△938,271	△624,629

正

平成29年度	平成30年度
(中略)	(中略)
(削除)	(削除)
5. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっています。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は雑資産に計上し、5年間で均等償却を行っています。	5. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっています。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は雑資産に計上し、5年間で均等償却を行っています。
6. 決算書類に記載した金額の端数処理の方法 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。	6. 決算書類に記載した金額の端数処理の方法 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。